

4歳児(Ⅱ期) 組

週・日案

園長	教頭	教務	担任

【7月第3週】 7月16日(火)～7月19日(金) おひさまタイム時の遊び(予想される遊び、○予想される子供の姿、●環境の構成、●教師の援助)

期のねらい
 ○友達と一緒に十分に体を動かしたり、身近なものを見たり、なりたいたいものになりきったりして遊ぶ中で、自分の思いを言葉や態度などで表現し、相手に伝えようとする。(人間関係・言葉・表現)
 ○遊びの中の約束を知り、守りながら、安全に遊ぶことに気付く。(健康)
 ○砂や泥、水の感触を楽しみながら遊ぶ。(環境)

先週までの子供の姿
 ○雨上がりの園庭での泥んこ遊びの楽しさに気付き、裸足で戸外に出て、全身を使って楽しんでいる。
 ○泡遊びに興味をもち、自分で石けんをすりおろして遊んでいるが、しっかりと泡立てることができる子供はまだ少数である。

身の回りのことを自分でやろうとする。
砂や泥、水などに触れながら遊ぶことを楽しむ。
自分の思いを伝えながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
大掃除や全体会に参加して、夏休みが始まることが分かる。

ままごと

○空き箱とテープを使って製作をする。
 ○身近な素材を切り貼ったりする。
 ○友達の作品に興味をもち、自分もつくろうとする。
 ●段ボール、空き箱などを取り出しやすいように用意しておく。
 ●作品を自由に展示できる場所を設置する。
 ・はさみを使って遊ぶ時は、安全に活動できるよう、側で見守り、必要に応じて使い方を伝えていく。
 ・「取れない」「くっつかない」など、どうしたら良いかわからず、教師に訴えてきたときは、さりげなくヒントを出しながら、どうしたら良いか一緒に考えていく。
 ・子供が「自分でつくった」「できた」という満足感や達成感が味わえるようにしていく。

身近な素材を使って遊ぼう

(アクセサリづくり)
 ○ストローを切る。
 ○切ったストロー等をテグスに通ってアクセサリをつくらうとする。
 ●切ったストローを入れるための皿を用意しておく。
 ●ストローを通すためのテグスは、端を止めておき、自由に製作を進めていくことができるようにしておく。
 ・子供が自分で考え自由に表現していく様子を認めながら、必要に応じて、やり方を一緒に考えていく。

お店屋さん

(お店屋さん)
 ○店員や客になりきって、ごっこ遊びをする。
 ○必要なものを身近な素材を使ってつくろうとする。
 ●ごっこ遊びの道具は取り出しやすく、また、片付けも自分たちでできるように、かごなどに分けて入れておく。
 ・教師も一緒に遊びながら、「ありがとう」「ごちそうさま」など簡単な言葉のやりとりを楽しめるようにしていく。

15日(月) 16日(火) 17日(水) 18日(木) 19日(金)

週の日

砂場遊び・固定遊具・三輪車
お絵かき・粘土・パズル

週の歌: 「みずでっぽう」「アイアイ」「バナナのおやご」「アイスクリーム」「おばけなんてないさ」「園歌」

身近な素材で遊ぼう

アイスクリーム屋さんごっこ

ストローでアクセサリづくり

プール遊び

バッタの観察・虫探し

準備物: (室内) 絵本、ままごと、お絵かき、廃材、輪投げ (戸外) 砂場玩具、三輪車、サーキット、カップ、石鹸、泡だて器、おろし金、ハンカチ

振り返り

ストローを切って遊ぶ子供が多いので、切ったストローをつけて、アクセサリのようなものができるよう、ゴムテグスを用意した。用意してあることを知らせると、戸外に出ずに早速つくり始める子供が多かった。ひもを用意したことを知っている、切ることを楽しんだり、様々な色のストローが用意してあることに魅力を感じたりして、「豆腐」「唐辛子！」などとままごと遊びにつなげる子供が多かった。アクセサリづくりに夢中になった子供はストロー以外の物を使えないかと考える姿もあったので、様々な素材を扱える環境を用意していきたい。

新聞を使った遊びを遊戯室で楽しんだ後、子供の「新聞ボールを沢山つくったら、お風呂みたいになる！」との声に応え、全員で新聞ボールづくりを楽しんだ。自由に新聞を取っていきける環境をつくと、ボールで遊ぶことよりも、次々とボールをつくることに熱中する子供が多かった。沢山のボールができ、新聞お風呂ができる、思い切り全身で楽しむ姿があった。新聞が遊戯室全体に散らばってしまうと、自分たちで真ん中に集めてまた楽しもうとする姿があった。他にも遊びの提案が多かったので、次につなげていきたい。

バッタを観察することができるよう、虫かご、写真絵本を子供に見える位置に設置している。バッタが動く様子に興味をもって、「あ！飛んだ！」と目で追っている。じっと観察している子供もいるが、多くは、虫かごの前を通る時に、中の様子を少し観察して通り過ぎていく。草を食べている様子など、注意深く観察しようと興味をもつことができるような声かけをしていく。

「雨、降っているよ。」と声をかけたが、ためらうことなく、全員傘をさして戸外に出た。藤棚の下に行くと、雨宿りをしようとするが、ポタポタと雨が落ちてくることに気が付き、「こも雨が降るわ！」と傘をさし、しずくが落ちて傘に当たる時の音を楽しんでいた。以前の泥んこ遊びを思い出して、「裸足になる！」と長靴をぬいで遊び始めた。水たまりに足を付け、泥が広がる様子をじっと観察したりする子供が多かった。

行事

☆週のねらいに対する評価
 ☆5つの力の育ち

☆夏休みが来ることが分かり、日に日に休みを楽しみにする様子があった。道具箱の整理、ロッカーや床の拭き掃除を促すと、喜んで取り組むことができ、自分の力で整頓できる子供が多かった。個々のやる気、頑張りを認めていくようにした。

☆様々な色のストローが用意してあることを喜び、自分で選んだストローを小さく切っていくことを楽しむ。はさみで切ると、ストローはとんでしまうが、皿を自分で用意し、飛び散らないように気をつけながら、切ることができる。(うごく力)(考える力)
 ☆テグスにストロービーズを通すことを楽しんでいる。同じ色をつなげたり、交互に入れたりするなど、自分で考えながら最後まで通している。プレスレットの形にしようとして、教師に援助を求めに来る途中で手が離れ、全て抜け落ちてしまったが、「あーあ」と言いながら、拾い集め、再び最後まで通した。(やりぬく力)

水遊び 全体会